

平成30年10月吉日

各 位

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会
委員長 合田 敏 尚

「第23回静岡健康・長寿学術フォーラム」の開催について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会では、11月16日（金）～17日（土）に、標記フォーラムを静岡市において、開催いたしますので御案内申し上げます。

また、関係の皆様にご案内くださるよう、お願いいたします。

なお、参加を御希望の場合は、当フォーラムホームページから直接、お申し込みいただけることを申し添えます。

【「静岡健康・長寿学術フォーラム」ホームページ

<http://www.shizuoka-forum.jp/>】

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局

担当：木村、三輪

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1

TEL：054-264-5156 FAX：054-264-5157

E-mail：health_and_longevity@shizuoka-forum.jp



第23回 静岡健康・長寿学術フォーラム

『人生100年時代の健康・長寿』

平成30年

11月16日(金)~17日(土)

会場：静岡県コンベンション
アーツセンター「グランシップ」

第1日

11月16日(金)

9:45

◆学術セッションⅠ

「健康長寿社会の構築に向けた環境科学の役割」

11:40

◆ポスターセッション

(若手研究者による研究発表)

13:15

◆シンポジウム

「人生100年時代、
自分らしい最期を迎えるための生き方、過ごし方」

第2日

11月17日(土)

10:00

◆学術セッションⅡ

「光を使った医療のイノベーション
～世界最先端の患者に優しい医療～」

◆静岡の未来を拓く

「高校生及び大学生の活動報告」

12:15

◆ランチョンセミナー

「『健康な食事・食環境』の認証制度『スマートミール』」

13:30

◆学術セッションⅢ

「認知機能を維持するための薬食のイノベーション」

15:00

◆県民フォーラム

「人生100年を生きる」

主催：静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡県）

後援：静岡県教育委員会／一般社団法人 静岡県医師会／一般社団法人 静岡県歯科医師会／一般財団法人 静岡県老人クラブ連合会／公益社団法人 ふじのくにに地域・大学コンソーシアム／公益財団法人 しずおか健康長寿財団／公益財団法人 静岡県産業振興財団／公益社団法人 静岡県栄養士会／公益社団法人 静岡県看護協会／公益社団法人 静岡県薬剤師会／公益社団法人 日本農芸化学会／公益社団法人 日本薬学会／静岡県健康づくり食生活推進協議会／静岡県製薬協会／静岡県中小企業団体中央会／社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会／大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所／地方独立行政法人 静岡県立病院機構／公益社団法人 日本栄養・食糧学会

◆開会挨拶

9:30~9:45

11階「風」

◆学術セッションⅠ

9:45~11:30

【※ 日英同時通訳で実施】

11階「風」

テーマ「健康長寿社会の構築に向けた環境科学の役割」

(※ 日中健康科学シンポジウムとの共催事業)

健康の維持・増進を図るためには、安全・安心な食品や水の確保が重要であり、生命の生存基盤となる環境を清浄に保つことが不可欠です。本セッションでは環境科学に着目し、健康長寿社会の構築に向けたその役割について探ります。

座長 賀川義之 (静岡県立大学 薬学部長・教授)

座長 坂田昌弘 (静岡県立大学 食品栄養科学部長・教授)

講演1 「大気汚染の公衆衛生上のインパクト」

講師/新田裕史 (国立研究開発法人 国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター フェロー)

講演2 「アスベスト誘発悪性中皮腫におけるHMGB1の潜在的な役割」

講師/应 士波 (浙江省医学科学院 職業病研究所 准教授)

講演3 「飲料水処理施設における生物活性炭ろ過からの可溶性微生物産物の漏出とその健康リスクへの影響」

講師/吴 南翔 (浙江省医学科学院 衛生学研究所 所長・教授)

◆ポスターセッション

11:40~13:10

10階 1001会議室

若手研究者による研究発表

(※ 日中健康科学シンポジウムとの共催事業)

◆シンポジウム

13:15~16:30

(静岡県の同時開催事業)

11階「風」

テーマ「人生100年時代、自分らしい最期を迎えるための生き方、過ごし方」

第1部 基調講演

基調講演 「人生100年時代の日本人の生き方、心のあり方」

講師/山折哲雄 (富国有徳の美しい“ふじのくに”づくりリーディング・アドバイザー顧問)

第2部その1 講演

講演1 「現代の死生観とがん医療」

講師/山口 建 (厚生労働省がん対策協議会会長、静岡がんセンター総長)

講演2 「深い悲しみと無常観~大切な人を手放さないために~」

講師/遠藤博之 (たんぼぼ診療所 院長)

講演3 「施設で最期を迎えた325名の方から教えていただいたこと」

講師/内藤歌子 (有料老人ホーム ナーシングホームあしたば ホーム長)

第2部その2 パネルディスカッション

パネリスト/山口 建 (厚生労働省がん対策協議会会長、静岡がんセンター総長)

パネリスト/田中一成 (静岡県立病院機構 理事長)

パネリスト/遠藤博之 (たんぼぼ診療所 院長)

パネリスト/内藤歌子 (有料老人ホーム ナーシングホームあしたば ホーム長)

コーディネーター/阪田英也 (日経BP総研 メディカル・ヘルスラボ 主席研究員・21世紀医療フォーラム事務局)

◆交流会

17:00~18:30

参加費 [一般:2,000円 学生:500円]

9階 910会議室

◆学術セッションⅡ

10:00～11:45

11階「風」

テーマ「光を使った医療のイノベーション
～世界最先端の患者に優しい医療～」

本年4月に静岡大学と浜松医科大学は、日本初の「光医工学共同専攻」を設置しました。この新しい研究科で進められている研究の一端を紹介するとともに、光医工学の最先端の研究開発から、患者さんに優しい未来の医療を展望します。

座長 佐々木哲朗（静岡大学大学院 光医工学研究科 教授）

座長 星 詳子（浜松医科大学 光先端医学教育研究センター
フォトンクス医学研究部 生体医用光学 教授）

講演1 「光でみる生体機能」

講師／星 詳子（浜松医科大学 光先端医学教育研究センター
フォトンクス医学研究部 生体医用光学 教授）

講演2 「近赤外分光法による多様な生体組織の
酸素濃度計測」

講師／庭山雅嗣（静岡大学大学院 光医工学研究科 准教授）

講演3 「光超音波による先端医用イメージング技術
－患者に優しい画像診断を目指して－」

講師／椎名 毅（京都大学大学院 医学研究科
人間健康科医学系専攻 教授）

◆静岡の未来を拓く
「高校生及び大学生の活動報告」

10:00～12:00

10階 1001会議室

座長 井島秀樹（静岡県教育委員会事務局 高校教育課
指導第1班長）

座長 森本達也（静岡県立大学 薬学部 教授）

◆ランチョンセミナー

12:15～13:15

【協賛：花王株式会社】

11階「風」

(昼食が提供されます。)

テーマ『「健康な食事・食環境」の認証制度『スマートミール』』

座長 鈴木 隆（静岡県立大学 薬学部 教授）

講師 市川陽子（静岡県立大学 食品栄養科学部 教授）

◆学術セッションⅢ

13:30～14:45

11階「風」

テーマ「認知機能を維持するための薬食のイノベーション」

認知症は脳内の細胞の働きが悪くなり、認知機能が低下して日常生活を営む上で支障が生じる状態をさします。食生活の改善によって認知機能の低下は予防できるのか、その可能性を探ります。

座長 河合真吾（静岡大学 農学部長・教授）

座長 三浦進司（静岡県立大学 食品栄養科学部 教授）

講演1 「食生活からの認知機能低下予防 －地域住民を対象とした老化に関する長期縦断疫学研究－」

講師／大塚 礼（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター NILS-LSA活用研究室 室長）

講演2 「脳の老化に対する緑茶の予防効果」

講師／海野けい子（静岡県立大学 薬学部 准教授）

テーマ「人生100年を生きる」

わが国は健康寿命が世界一の長寿社会を迎え、今後の更なる健康寿命の延伸も期待されています。このような人生100年時代には、胎児期・幼児期から青年期までの健康の基盤づくりが益々重要となります。また、若者から高齢者まで、いつでも多様な活躍の場がありつつ、安心して暮らすことのできる社会を創る必要があります。人生の長寿化を恩恵にするための新しい生き方とそれを支える社会の仕組みを考えます。

座長 伊東宏晃（浜松医科大学 周産母子センター 病院教授）

座長 合田敏尚（静岡県立大学 副学長・食品栄養科学部 教授）

基調講演 「生涯活躍ーいきがいとしての知の継承」

講師／木苗直秀（静岡県教育委員会 教育長）

講演1 「次世代を支える母子保健：食育と疾患予防」

講師／杉山 隆（愛媛大学 医学部 産科婦人科学 教授）

講演2 「多様性を前提とした地域『共生』の取組み」

講師／高畑 幸（静岡県立大学 国際関係学部 教授）

総括 鬼頭 宏（静岡県立大学 学長）

◆**閉会** 17:00

〔主催者・登壇者の都合により講演内容が変更される場合がございます。〕

第23回 静岡健康・長寿学術フォーラム参加申込書

申込年月日 年 月 日

フリガナ 名 前			
住 所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
職 業 (○をつけて ください)	<input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> 大学院生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 専門職（職種： ） <input type="checkbox"/> 会社員（業種： ） <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> その他（ ）		

参加を希望するセッションに ○ を記入してください。

参加希望セッション	11/16 (金)	学術セッションⅠ	(9:45～11:30)
		ポスターセッション	(11:40～13:10)
		シンポジウム	(13:15～16:30)
		交流会（参加費：一般2,000円 学生500円）	(17:00～18:30)
	11/17 (土)	学術セッションⅡ	(10:00～11:45)
		静岡の未来を拓く「高校生及び大学生の活動報告」	(10:00～12:00)
		ランチョンセミナー（定員：100名）	(12:15～13:15)
		学術セッションⅢ	(13:30～14:45)
県民フォーラム		(15:00～17:00)	
生涯教育制度の適用		<input type="checkbox"/> 日本医師会 <input type="checkbox"/> 日本薬剤師研修センター ※生涯教育の一環として単位認定を希望される方は、該当する団体にチェックを入れてください。	

*ご記入いただきました個人情報は、本フォーラムにおいてのみ使用します。

*本フォーラムは、日本医師会生涯教育制度及び日本薬剤師研修センター研修認定制度の対象研修です。

送付先

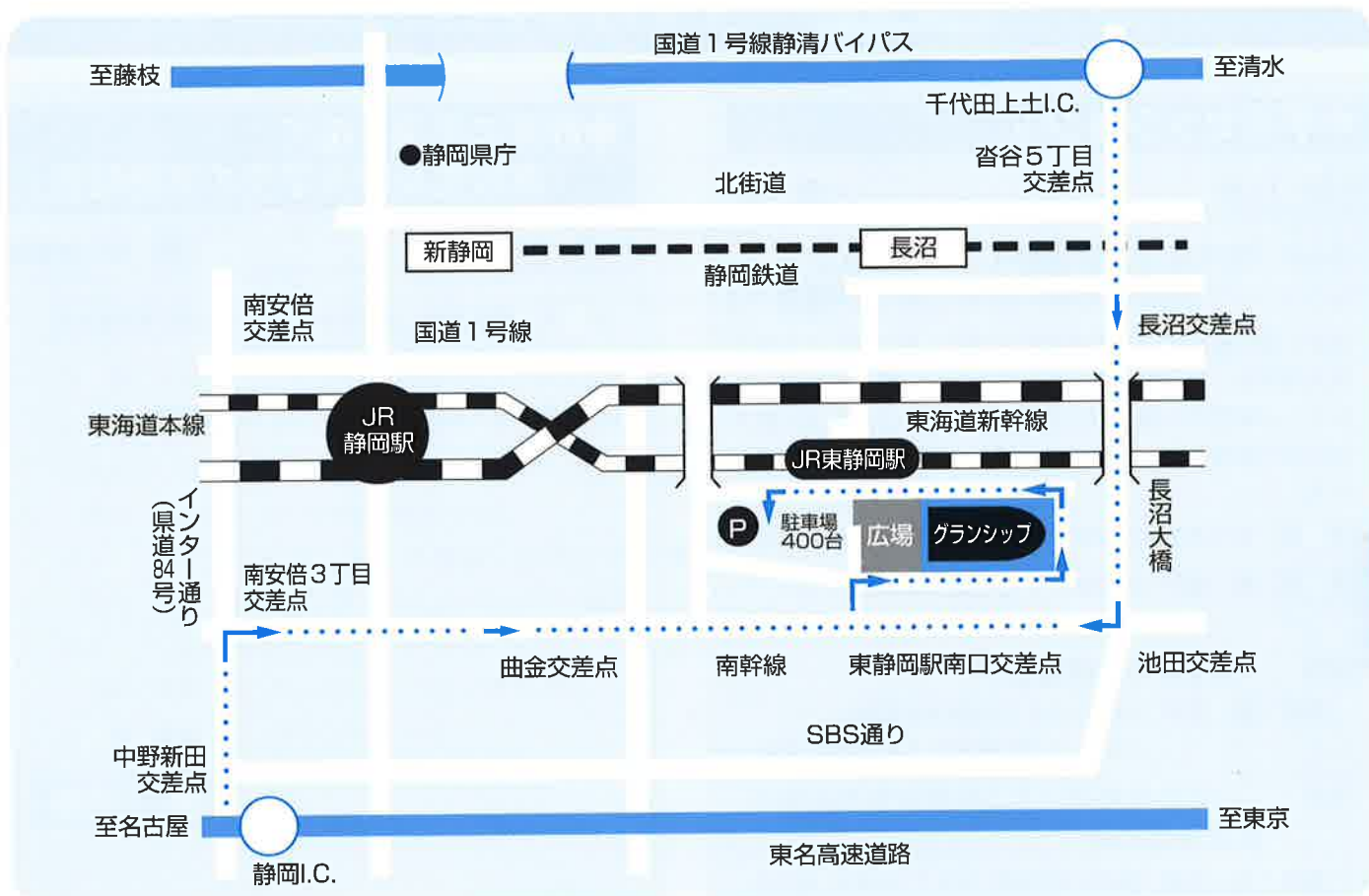
FAX (054-264-5157) 又は郵送でお申し込みください。

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL:054-264-5156 FAX:054-264-5157

静岡健康・長寿学術フォーラムの歩み

年度	回数	テーマ
1995年	プレ大会	健やかな長寿を科学する
1996年	第1回	いかに病気と戦うか ―現在そして未来―
1997年	第2回	長寿社会に向けての疾病抑制 ―寝たきりの防止に向けて―
1998年	第3回	がんへの挑戦：進歩と希望
1999年	第4回	賢い食生活で健康長寿をめざす
2000年	第5回	老化機構研究の最前線と後期高齢者の健康問題
2001年	第6回	ゲノム創薬と21世紀の医療
2002年	第7回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅠ
2003年	第8回	健康長寿への自然科学、社会科学からのアプローチⅡ
2004年	第9回	現代ストレス社会における“心と体の健康”
2005年	第10回	健康長寿の科学・文化を考える“フォーラム10年の歩みと未来への提言”
2006年	第11回	自然からの恵み“薬食同源” ―21世紀COEプログラム(先導的健康長寿学術研究推進拠点)からの発信―
2007年	第12回	光を当てて、こころとからだの危険をさぐる ―21世紀COEプログラム(メディカルフォトニクス)からの発信―
2008年	第13回	元気な血管で健康な長寿を ―老いは血管に始まる
2009年	第14回	再生医療 ―未来への展望―
2010年	第15回	認知症克服で健やかな長寿を～創薬と医療
2011年	第16回	異分野の科学が融合して健康長寿社会を創造する
2012年	第17回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケア
2013年	第18回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅡ ―健康長寿社会へのアプローチ―
2014年	第19回	超高齢社会を支える健康長寿科学とセルフケアⅢ ―健康長寿ふじのくに さらなる挑戦―
2015年	第20回	次世代につなぐ健康長寿 ―生涯を通じた健康を考える―
2016年	第21回	健康・長寿社会を支えるモノづくり・人づくり ―生命科学から見たモノづくりの可能性―
2017年	第22回	日本人の健康・長寿のルーツを探る ―これからの健康・長寿社会を展望する―



会場までのアクセス

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2丁目3-1
 TEL : 054-203-5710 (代表) <http://www.granship.or.jp>

JRでお越しの場合

東海道新幹線 (ひかり) 東京から1時間 / 大阪から2時間、静岡駅下車
 東海道本線 上り方面に乗換、東静岡駅まで約3分
 東静岡駅南口からメインエントランスまで徒歩約3分

静鉄でお越しの場合

新静岡駅から6分 / 新清水駅から14分、長沼駅下車
 JR東静岡駅コンコース通過、南口出口まで徒歩約7分
 メインエントランスまで徒歩約3分

お車でお越しの場合

東名高速道路 静岡I.C.から6km、車で約20分
 新東名高速道路 新静岡I.C.から9km、車で約15分
 静清バイパス 千代田上土I.C.から4km、車で約10分
 * グランシップ駐車場は有料です。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

参加申込方法 参加費：無料

参加申込書に必要事項をご記入の上、11月8日(木)までにFAXまたは郵送で【静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局】宛にお送りください。また、下記のホームページからお申し込みできます。なお定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますが、当日、席に余裕がある場合はご参加いただけます。なお11月16日(金)の交流会に参加希望の方は、会場入口にて参加費2,000円(学生500円)を申し受けます。

お問合せ・お申込み

静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局
 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1 TEL : 054-264-5156 FAX : 054-264-5157
 Email : health_and_longevity@shizuoka-forum.jp HP <http://www.shizuoka-forum.jp>

ホームページからお申し込みができます。詳しくはホームページをご覧ください。

静岡フォーラム

検索